

河合楽器製作所がオンキヨーと共同開発し、高音質な再生技術を取り入れた新たな電子ピアノ「CA98」=河合楽器製作所提供

電子ピアノの独自性競う

家庭で演奏を楽しむ電子ピアノが、進化を続けている。河合楽器製作所は最上位モデル「CAシリーズ」を約一年半ぶりに刷新し、音響機器大手と共同開発して音質にこだわり抜いた機種を二十日から売り出す。ヤマハはロングセラー「クラビノーバ」の新製品として、スマートフォン音楽ファイルから作った譜面と連動した演奏ができる「CSPシリーズ」を二十四日に発売し、気軽さを売りにピアノ初心者を取り込みも図る。

河合の新CAシリーズは三ノイズを減らし、より細密な機種。上位のCA98とCA78音色を出すための回路を備え、二〇一五年に資本業務提携。コンサート向けグランド携したオンキヨー(大阪市)ピアノの最上位機種「SK1」の高音質な再生技術を導入。EXの音色を複雑な共鳴音

「CAシリーズ」2年半ぶり刷新



河合楽器 高音質再生こだわる

まで再現した音源を内蔵し、広報担当者は「原音に限りなく近い音が楽しめる」と話す。CA98は、高低の音域を別々に振動させるスピーカーシステムで、より迫力のある音色を追求した。「上級者を中心に、自宅のマンションでも『本物』を弾きたい人にお薦め」と広報担当者。上位二機種はカラーの液晶タッチパネルを左端に配置し、音色の切り替えや内蔵曲の再生といった各機能をスマホのように操作できるようにした。

最も低価格のCA48(十一月十日発売)も含めて鍵盤は木製。標準価格は税抜き二十八万~十九万五千円で、年間

ヤマハの新シリーズ「CSP」。タブレット端末内の音楽ファイルから譜面を作り、鍵盤上部で光るランプに合わせ弾くことが可能。=浜松市中区で

ヤマハ タブレット連動強化

で計六万台の国内販売を目指す。

ヤマハのクラビノーバ「CSP」は、ピアノを習ったことがなくても、お気に入りの曲を弾いてみたいという需要に着目した。

スマホやタブレット端末向けの専用アプリケーションを使い、端末内の音楽ファイルから、一曲につきアレンジが異なる四十種類の譜面を自動で瞬時に作成。端末とピアノをインターネットの無線LANや有線で接続すれば、本体のスピーカーから譜面通りに再生できる。

クラビノーバ「CSPシリーズ」

で、演奏に参加しているような気分が楽しめる。曲の進行に応じて鍵盤上部のランプが流れるように光り、弾くべき鍵を教えてくれるガイド機能もあり、譜面を読むのが苦手な人も演奏しやすいようにした。

スピーカーや色が異なる二機種六モデルで、税抜き三十二万八千~二十二万円。一年目は国内で計二千台の販売を見込む。アプリは発売当初はiPad(アイパッド)やiPhone(アイフォン)の「iOS」向けで、アンドロイド版は来春から扱う予定。

